

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-19 社会参加・生きがい対策事業				ザイムスコード及び個別事業名			
	□支援部門				889	入浴助成・デイ銭湯		
主管課	高齢者いきいき課		関連課		889	いきいきサークル		
分野名	健康福祉				889	老人クラブ		
目標 (目標値)	高齢者の健康と生きがいづくり				1008	割引乗車証		
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	70,707千円	69,678千円					
	(国・県)	2,310千円	2,374千円					
	(負担金等)							
	(一般財源)	68,397千円	67,304千円					
	人員配置数	1.7人	1.4人					
	人件費	15,919千円	16,026千円					
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	86,626千円	85,704千円	H21対象者数 (60歳以上) :61,843人				
	市民1人当 りの経費	490円	486円	20年度	40%	37%		
	対象者1人 当りの経費	1,401円	1,414円	21年度	40%	40%		
				22年度	40%			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					23年度	40%	
						最終年度 (年度)	40%	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 老人クラブ会員の加入促進。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ①老人クラブへの加入促進の為、メディアを利用した広報活動を引き続き行った。また、老人クラブ創 立45周年事業を実施し、広く活動をアピールした。 ②活動サービス事業の周知・利用促進のため、展示・発表を引き続き行った。 また、「地域展開型」生きがい対応型デイサービス事業をいきいきサークル事業に名称変更して事 業展開し、5か所から16か所に増加した。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 老人クラブ会員の加入者は増加に転じたが、老人クラブのない区域の解消には至っていない。 生きがい対策事業を利用するうえでの地域的格差が、まだ是正されていない。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 引き続き、メディアを利用して老人クラブの活動をPRし、会員の加入促進を図るとともに、連合会へ の支援ボランティア募集や「勢年部」の活動を充実させることにより、イメージの刷新と活性化を図る。 高齢者割引乗車事業の拡充を図り、外出支援の促進に努める。 地元に着目した生きがい対策事業として、自治会館・町内会館等を利用して行ういきいきサークル事 業をさらに充実させ、地域的格差の是正を図っていく。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性			
A	有	今後も、市民が地域で行う活動が充 実していくよう事業を展開していく。		A	有	高齢者の生きがいづくりとともに介 護予防となる施策を充実させる。		
課長名		高齢者いきいき課長 比連崎 勝		部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子		